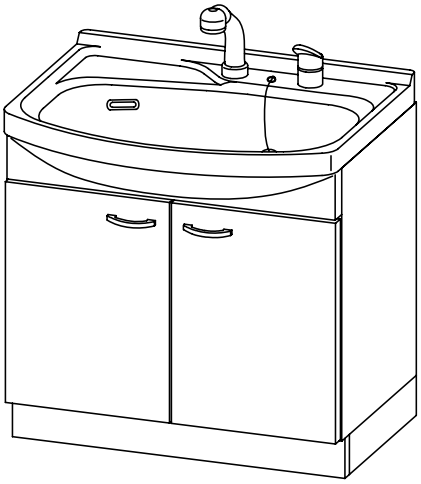
Takara standard

設置説明書

洗面化粧台

Suria
スーリア



もくじ

1. 安全上のご注意…… 2
2. 設置上のご注意…… 2
3. 組立配管図…… 3～4
4. 設置手順…… 4～8
5. 調整のしかた…… 8
6. 点検・仕上げ…… 8
7. お願い事項…… 8

■この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
■設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

●水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
●給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
●設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
●本製品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
●梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

1. 安全上のご注意

必ずお守りください

・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
・表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

❗ このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	⃠ このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 警告

❗ **●キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う** 固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。	❗ **●水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う** 接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因になります。

⚠ 注意

❗ **●組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する** 設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。	❗ **●排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う** 接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
❗ **●Sトラップと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う** 接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。	❗ **●設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する** 扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。
❗ **●設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓を絞って流量調整する** 水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。	⃠ **●SトラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない** 使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

●直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。	**●工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない** キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
●設置する時にボウルに載らない ボウルがキズつくおそれがあります。	**●浴室内等の湿気の多い場所への設置は避ける** 製品が早く傷むおそれがあります。

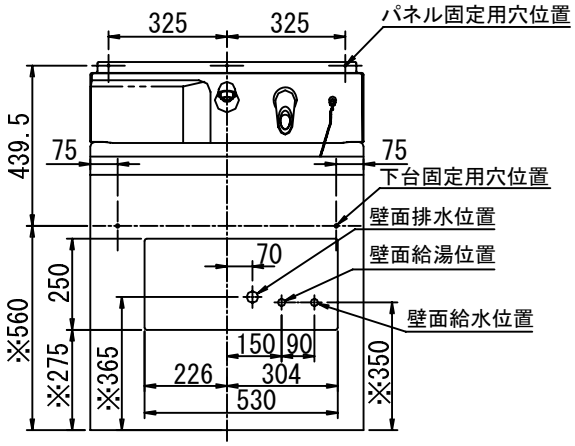
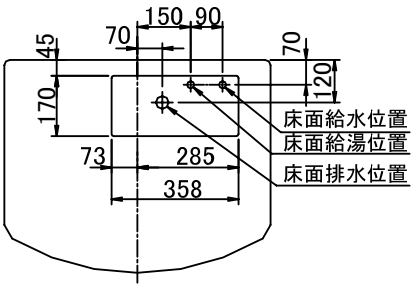
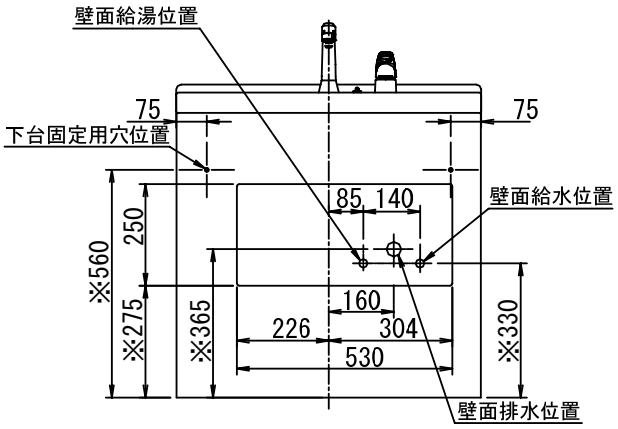
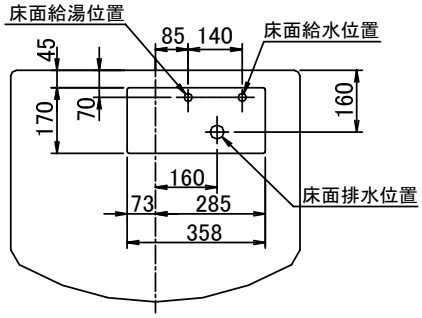
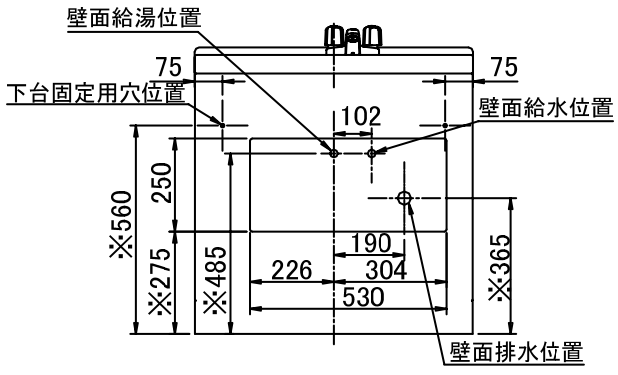
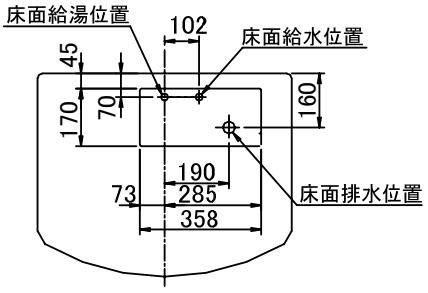
2. 設置上のご注意

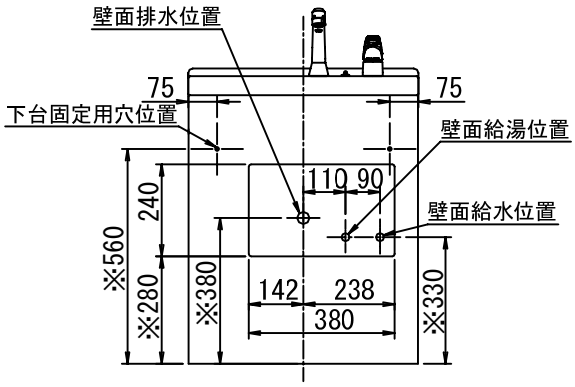
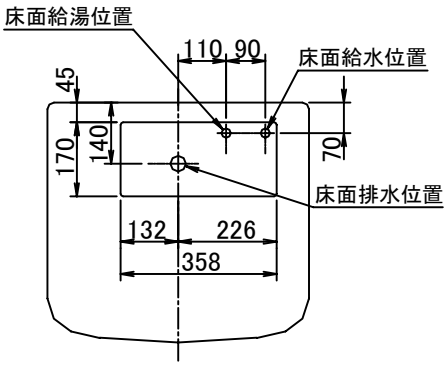
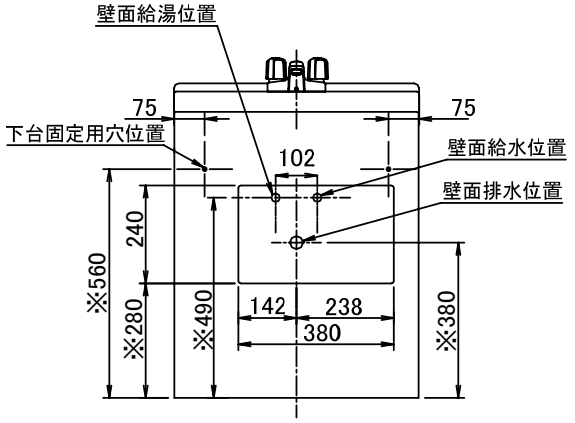
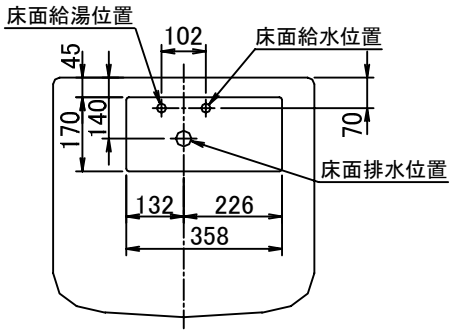
設置前のご確認

取付用桟木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。また、屋内側の給排水管が所定の位置に配置されていることも確認してください。(組立配管図参照)

3. 組立配管図

注1）図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。カウンター高さが80cmの場合、※部の寸法は
　　＋50mmになります。
注2）小型電気温水器設置の場合、給湯管立上げは不要です。また、壁面排水は不可です。
注3）[　]は、扉（引出し付）タイプの場合の寸法です。

キャビネット	間口	水栓	正面図	上面図
壁出水栓タイプ	75cm	洗髪シャワー水栓		
デッキ水栓タイプ		洗髪シャワー水栓		
		洗面水栓		

キャビネット	間口	水栓	正面図	上面図
デッキ水栓タイプ	60cm	洗髪シャワー水栓		
デッキ水栓タイプ		洗面水栓		

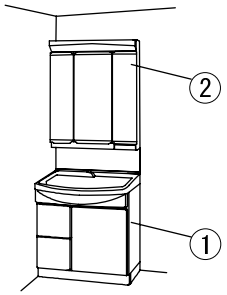
4. 設置手順

＜洗面化粧台の設置順序＞

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの設置は、ミラーキャビネットに付属している設置説明書にしたがってください。



洗面下台は下記の順序にしたがって設置作業をおこなってください。

(1)付属部品の確認 → (2)バックパネルへの部品取付（壁出水栓タイプの場合のみ） → (3)ボウルとバックパネルの接続（壁出水栓タイプの場合のみ） →

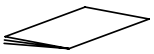
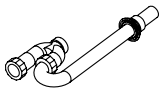
(4)水栓・排水部品の取付 → (5)下台の設置 → (6)給排水管の接続 →

(7)ミラーキャビネットの設置 → (8)コーキング処理 → (9)扉の調整

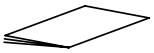
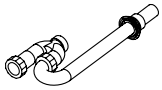
(1)付属部品の確認

・付属部品が揃っているか確認してください。
※本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

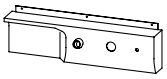
■下台(デッキ水栓タイプ)

小物セット	取扱説明書・設置説明書	各1部	
	固定用スリーブ	2個	
	トラスタッピンネジ4×45	2本	
同梱部品	Sトラップ	1個	
	排水管アダプター	1個	

■下台(壁出水栓タイプ)

小物セット	取扱説明書・設置説明書	各1部	
	固定用スリーブ	2個	
	トラスタッピンネジ4×45	2本	
	トラスタッピンネジ4．5×25	3本	
	カヌークリップ	5個	
同梱部品	Sトラップ	1個	
	排水管アダプター	1個	
	ヒートン	1 個	

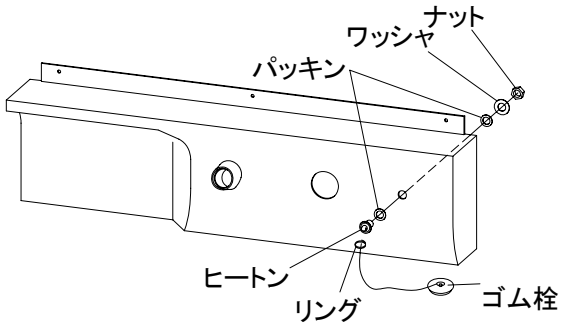
■バックパネル

同梱部品	バックパネル本体	1 個	

(2)バックパネルへの部品取付け ※壁出水栓タイプの場合のみ

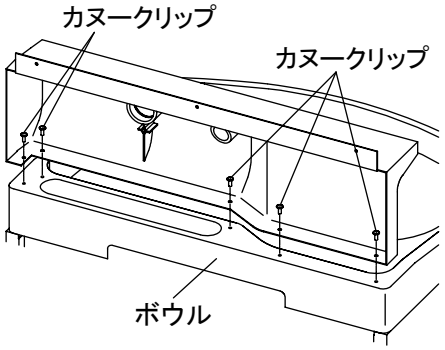
①ヒートンをバックパネルに取付けてください。

②ヒートンにゴム栓のリングを接続してください。

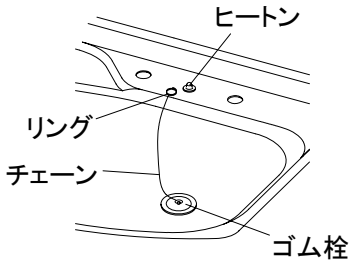


(3)ボウルとバックパネルの接続 ※壁出水栓タイプの場合のみ

①バックパネルを下台のボウルの上に載せて
カヌークリップでしっかり取付けてください。



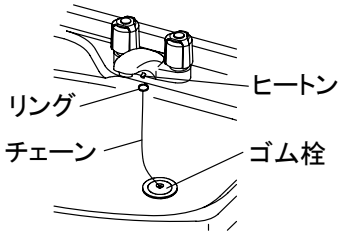
(4)水栓・排水部品の取付



●壁出水栓タイプの場合
①水栓付属の説明書にしたがって、水栓をバックパネルに取付けてください。

●デッキ水栓タイプ(洗髪シャワー水栓タイプ)
①ヒートンにゴム栓のリングを接続してください。

②水栓付属の説明書にしたがって水栓をボウルに取付けてください。



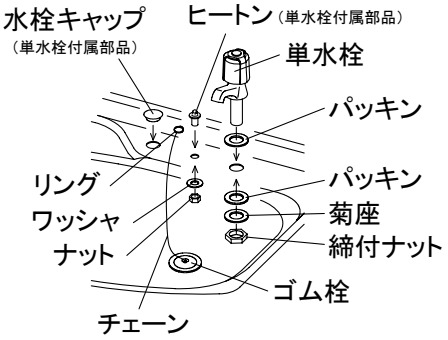
●デッキ水栓タイプ(洗面水栓タイプ)
①水栓のヒートンにゴム栓のリングを引っ掛けてください。

②水栓接続の説明書にしたがって水栓をボウルに取付けてください。

●デッキ水栓タイプ(単水栓タイプ)
①水栓付属のヒートンにゴム栓のリングを接続してからボウルに取付けてください。

②水栓付属の水栓キャップにシリコーン(クリア)を全周塗布してボウルに取付けてください。

③水栓をボウルに取付けてください。

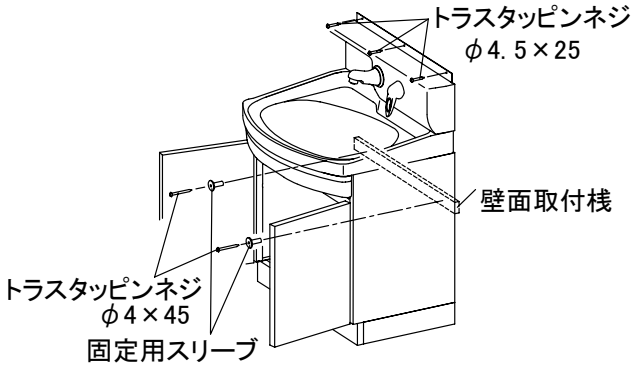


(5)下台の設置

①下台を所定の位置に設置してください。

②下台内部より、固定用スリーブを介してネジで下台を壁面固定してください。

ご注意:床が水平でない場合は、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

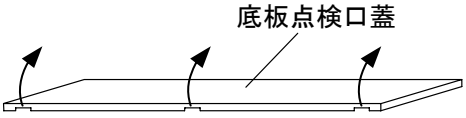


③バックパネルをネジで壁面に固定してください。
(壁出水栓タイプの場合のみ)

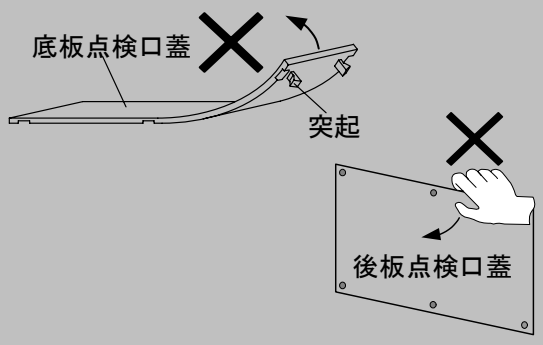
(6)給排水管の接続

①下記にしたがって点検口蓋を取りはずしてください。

・底板点検口蓋
手前側の凹み3箇所部分を持ち上げ、点検口蓋をはずしてください。

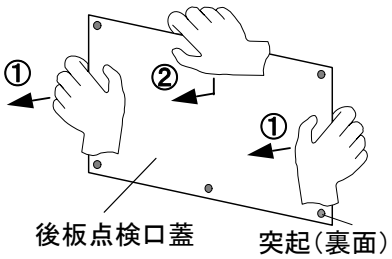


ご注意:下図のように指示と異なる方法で無理にはずさないでください。
突起が折れる可能性があります。



・後板点検口蓋

1、両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて
　4隅の突起をはずしてください。
2、上辺中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら
　手前に引いて点検口をはずしてください。



②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に穴(給水管、給湯管、排水管用)をあけてください。

③給水管・給湯管を接続してください。

1、点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を取付けてください。
2、水栓付属の説明書にしたがって配管工事を行ってください。

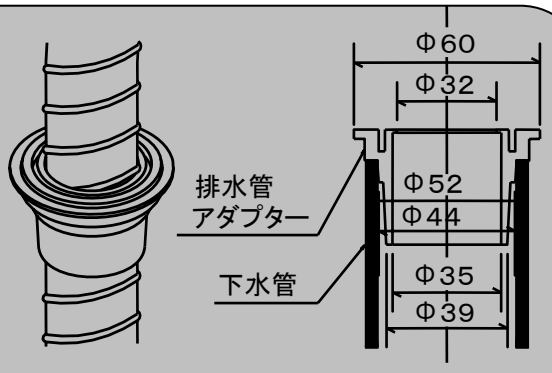
④排水管を接続してください。

壁排水の場合はP管(別売部品)が必要ですので手配もれがないことを確認してください。

・床排水の場合

1、底板点検口蓋の穴にSトラップのフレキシブルホース部を通してください。
2、フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し、排水管に差込んだ後に隙間のないように完全にシールしてください。
3、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。

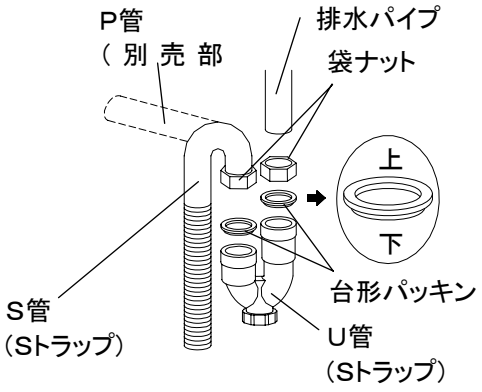
ご注意:
・排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
・U管、P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けないでください。水漏れの原因になります。



ご注意:
・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
・金属製のナット類は、十分締め付けてください。締め付け不足の場合、水漏れの原因になります。
・凍結防止や結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

・壁排水の場合

1、後板点検口蓋にあけた穴にP管を通してください。
2、建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とSトラップのU管を確実に接続してください。
3、P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
4、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。



(7)ミラーキャビネットの設置

ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

(8)コーキング処理

下台に続いてミラーキャビネットの設置も完了しましたら、外観向上および防水処理のため、ボウルとサイドパネル間をシリコーン材(白)でコーキング処理を行ってください。

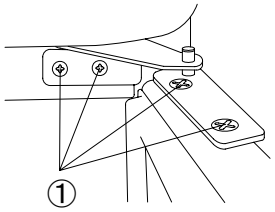
(9)扉の調整

扉の丁番ゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、「5. 調整のしかた」にしたがって調整してください。

5. 調整のしかた

※調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついた場合は、①のネジをプラスドライバーで締めてください。



6. 点検・仕上げ

●安全点検

・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。
・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

●仕上げ

・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。
その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

7. お願い事項

●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号

10155570
3C-1
BSH 設置説明書(3)